

伊賀市 事務事業評価シート

整備事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
888		臨時河川等整備事業	01	一般会計	
基本施策	20	美しい川の環境を維持する	08	土木費	
			03	河川費	
			03	準用河川改修対策費	
担当部課名		建設部 道路河川課	細目	102	準用河川改修事業
作成者氏名	松山 宗達	連絡先	細々目	01	臨時河川等整備事業
		22-9816			

事業の計画・内容

整備目的	河川環境を維持しながら、市民の財産を守るために、準用河川の河川改修整備事業を実施する。河川改修の整備は河川堤防の保護のため、構造物を施している。	整備内容	1 整備面積等	準用河川全般
			2 規模・構造	U型排水路、ボックスカルバート
			3 総事業費(千円)	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	2	2	2
	人件費合計(A)	14,400	14,400	14,400
	事業費(B)	29,608	33,900	33,900
②支出内訳(千円)	工事費	29,608	33,000	33,000
	その他		900	900
	合計(A+B)	44,008	48,300	48,300
	③財源内訳(千円)	特定財源	20,300	21,000
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	23,708	27,300	27,300
上記①～③に関する特記事項				

根拠法令・要綱等	河川法
関連事業	特になし

事業年度	開始年度	平成 6 年度	終了年度	平成 年度
------	------	---------	------	-------

進捗状況	区分	年度				
		H17	H18	H19	H20	H21
	工事費	29,608	33,000	33,000	23,000	23,000
	その他		900	900	900	900
	進捗率	50	52	54	56	58

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標
河川改修工事の延長・・・河川改修率の向上による住民の満足度	河川改修率の向上による住民の満足度が、美しい川の環境を維持するための指標となる。基本計画の数値目標によりアンケートを実施し、住民満足度が成果指標になる。	平成 22 年度 住民満足度 60%

事業開始時からの状況変化等

ほ場整備事業等で河川改修が進んでいるが、まだ未改修が多く、河川環境を維持し、市民の財産を守る治水のため、平成18年4月現在も少しづつ河川改修を進めている。

評価	必要性	4	河川改修は市民の財産を守る重要な治水工事であり、河川環境を維持することからも必要な工事である。同様に、河川改修の結果、市民の満足度の上昇により有効性が向上する。未改修区間が多く、多額の工事費が必要なため、時間がかかりすぐには達成しないが、他事業による河川改修も進めながら効率を求めた。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		